



豊かな表現力は こうして養われる！！

なぎさ公園小学校では、6年間を通じて表現力を養う機会を豊富にもちます。低学年のおはなしの発表会、中学年のリーダーシアター、高学年のレシテーションコンテストなどなど。このほか、様々な機会に大勢の人の前で発表することを厭うことなく行うことで、表現力に磨きをかけるのです。

自分の考えや思いを伝え合いながら、1つの作品に創り上げる様は、見事というほかありません。たとえ、1年生であっても、練習の中で気づいたことを出し合い、工夫するところや注意するところなどについて話し合いながらよりよい表現を求めて練習します。未来に生きる力を身につけます。

◆おはなしの発表会1年「九ひきの小おに」



入学して1年もたっていない1年生ですが、長いお話をクラス全員で読みつないでいきます。発表会の前の週には、インフルエンザが流行りかけて、練習もままならないこともありました。お休みした人の分までがんばって練習し、家の人に楽しんでもらいました。「ゆっくり、はっきり、おおきく」に気をつけて話す様子がとても立派でした。

朝の登校時に大きくてきれいな葉っぱを小おにが乗った船に見立てて、拾ったのでしょう。1年生が「はっぱの船をひろったよ。」と笑顔で見せてくれました。「子おにはいなかなか～」とじっと見つめながら笑って教室にかけていきました。。

◆おはなしの発表会2年「アトル工場へいく」

このお話は、ねずみのアトルがチーズ工場へ行って、チーズの味を吟味し、よりよいチーズづくりに貢献するという愉快な話です。もちろん演じる子どもたちも楽しみ、保護者の皆様にも見たり聞いたりしながら存分にお楽しみいただけたと思います。なぎさでは、このような国語の学習と絵画造形の学習をつなぎ合わせたP・D・E学習をします。校内の掲示場所に貼られた作品と共に、自分たちで創るお話の世界に浸りきって楽しむのです。



ゆず

果実は比較的大きく、表面はでこぼこしています。酸味は強く、香りもあり、柑橘類の中では耐寒性が強く、寒い場所でも自生できる数少ない種。ピオトープの南側にあり、たくさん実をつけています。

12月の生活目標

- すみずみまで掃除をしよう
- 時間を意識して行動しよう

◆リーダーシアター-3年「おばけじぞう」



3年生ともなると、自分たちで物語を解釈して必要な動きや声の大きさ、速さなどに工夫を加えるので、いっそう物語の世界に見る者を引き込んでいく学習になります。練習時は、互いに、振り返りをして、よい点を認め合ったり、課題となる点について、どのように工夫するか話し合ったりします。同じ話でもクラスによって演出が異なる面白さを味わうこともできます。かなりの長文を読みこなし、工夫し人前で発表する経験は、大きな自信になることでしょう。

こうして各教科で行う授業の中で、表現力を意識して指導するのは、ほかならぬ理由があるからです。将来、子どもたちは、自分の考えや意見を堂々と述べ、人と協働してよいよいものを生み出して生きなければなりません。今から、なぎさっ子の活躍が目に見えるようです。

